

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [11] 東京都台東区立入谷老人福祉館

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H20. 4. 1 ~ H23. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	老人福祉センター・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 557, 487, 339円, 歳出2, 553, 884, 652円, 収支差額3, 602, 687円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区入谷 1-16-9
(2) 設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。
(3) 利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から17時まで
(5) 規模	延べ床面積 341㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など
(6) 人員体制	4名 内訳…施設管理員(非常勤4)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練 等
(2) 自主事業	各種サロン、地域・世代間交流事業、各種教室 等

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	33,358,000	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	33,358,000	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000
決算	委託料	24,375,061	17,410,920	17,934,216	19,789,577	19,644,000
	料金収入等	0	0	0	0	1,113,840
	管理経費	24,375,061	17,410,920	17,934,216	18,675,737	15,061,269
	収支	0	0	0	1,113,840	5,696,571

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	295	297	294	294
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	12	37	60	58
ことぶき教室実施回数	回	42	60	99	100

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用者数	人	26,100	24,764	24,873	25,479
健康づくり(介護予防)事業 ことぶき教室参加者数	人	3,200	2,444	3,102	3,015

7. 前年度からの取組

自主事業として一人からでも気軽に参加できる各種サロンの開催数を増やし、サービスの充実に努めている。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	松が谷児童館との交流といった地域・世代間交流事業の実施などにより、高齢者に教養、レクリエーション等の場を提供するという役割を十分に果たしている。
(2) 施設の維持管理	A	建物の老朽化が進む中で、適切な維持管理に努め、高水準のサービスを提供している。
(3) 利用者の満足度	A	高齢者が一人でも参加できる各種サロンの開催など、利用者拡大に向けた取り組みを強化している。またアンケート結果によると事業内容に対する利用者の満足度は高い。
(4) 歳入歳出	A	光熱水費の削減など経費削減に努めたことで、前年度よりも管理経費を大きく削減している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

一人でも参加できる各種サロンの開催など、利用者拡大の取り組みを強化している。また地域・世代間交流事業の実施など、地域における高齢者の活動場として提供されており、利用者満足度も概ね高い。

11. 評価結果への対応

ここ数年、利用者数に大きな変化はないが、サービスの工夫・向上によって増加を目指す必要があると思われる。また、施設の老朽化が激しいため、より一層の安全管理への取組みが求められる。